

平成 19 年 5 月 30 日

各 位

会 社 名 全 日 本 空 輸 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 山元 峯生
(コード番号 9202 東証・大証各第1部)
問 合 せ 先 総 務 部 長 久 松 完
(TEL . 03-6735-1001)

アジアナ航空との戦略的提携について

当社とアジアナ航空（本社：大韓民国ソウル市、代表取締役社長：Kang Joo-an）は、株式の相互保有をはじめとする両社の戦略的な提携に合意しましたのでお知らせ致します。

以 上



2007 年 5 月 30 日
共 同 リ リ ー ス
ANA・アジアナ航空



ANAとアジアナ航空は、戦略的協力関係を構築

～ 株式の相互保有など、さまざまな分野で、戦略的パートナーシップを構築 ～

ANAとアジアナ航空は、両社の戦略的な提携に合意し、お客様に満足いただけるサービスを提供するため、さらなるネットワークの拡充と相互協力を実施していくこととなりました。

両社は、2006 年 12 月 5 日(火)に戦略的提携に関する協議開始について合意し、両社のプロジェクトにおいて、数カ月の間、検討を行ってまいりました。その結果、具体的な協力内容について、下記のとおり合意いたしました。

《主な合意内容》

項 目	内 容
① 株式の相互保有	取得金額ベースで 1,200 万米ドルの株式を各々の株式市場で購入し、相互に保有する。
② コードシェアの拡大	2000 年 12 月より旅客便のコードシェアを開始し、2006 年 4 月より貨物便についてもコードシェアを開始している。2007 年 7 月 1 日(日)よりANAが運航する成田＝ホノルル線にもアジアナ航空便名を付与する。
③ セールス・マーケティング	将来的に、虹橋空港、金浦空港、羽田空港間で就航する便を見据えた、日中韓 1 周運賃の設定などのセールス強化に向けた協力を行う。 この 3 つの空港は、浦東空港、仁川空港、成田空港よりも都心に近く、お客様にとってより便利になる。
④ 空港	両社共通乗り入れ海外 19 空港(日本と韓国を除く)における費用削減とサービスの向上を含む協力体制を構築する。海外の主要空港におけるイレギュラー運航時等においてサポート体制を構築し、航空機用部品の在庫情報共有化を行う。
⑤ 調達	就航空港における燃油の共同調達の検討および燃料調達に関する情報を共有する。
⑥ 客室サービス	客室乗務員の共同訓練計画および機用品や機内エンターテインメントの共同開発を検討する。
⑦ 人材交流	お互いに有効とみなされる人事交流および共同訓練プログラムを実施する。

これからも、益々便利になる日本＝韓国線、ANAおよびアジアナ航空にどうぞご期待ください。

《ANAについて》

- 1. 代 表 者 代表取締役社長 山元峯生
- 2. 所 在 地 東京都港区
- 3. 設 立 1952 年 12 月
- 4. 資 本 金 約 1,600 億円
- 5. 従業員数 12,945 人
- 6. 機 材 数 209 機
- 7. 路 線 数 国内線 50 都市、123 路線、816 便／日
国際線 10 カ国、26 都市、49 路線、660 便／週

《アジアナ航空について》

- 1. 代 表 者 代表取締役社長 Kang Joo-an
- 2. 所 在 地 大韓民国 ソウル市
- 3. 設 立 1988 年 2 月
- 4. 資 本 金 約 8,758 億ウォン
- 5. 従業員数 8,057 人
- 6. 機 材 数 59 機
- 7. 路 線 数 国内線 12 都市、16 路線、66 便／日
国際線 17 カ国、62 都市、74 路線、468 便／週

《報道関係者のお問い合わせ先》

ANA広報室 03-6735-1111
アジアナ航空日本地域本部 03-5572-7657